



「はこ」今期も無事上演

ろう学校に笑顔の花咲かす



昨年11月から12月にかけて、京都府・石川県・福井県・富山県、岐阜県、千葉県、神奈川県、東京都のろう学校にて『はこ』BOXES じいちゃんのオルゴール』の上演を実施しました。

依然かわらぬコロナ禍の中、決して劇団を呼びやすい状況ではないにもかかわらず、各校の皆さまにはたいへん温かく迎えていただきました。

本号では、ろう学校公演を通して感じたことや芝居への思いを『はこ』出演者4名が語ります。

やなせけいこ

もう40年……もやっているのに、開演前の緊張が半端ではない。

当たり前のようにドツとやってくる。

ある程度のいい緊張感はないといけない、とは思うが。

新人の頃の方がリラックス（？）とっていいかどうか？

何もわからないままやっていたからなのか？

長くやればやるほど緊張する要素がふえてくるのか？

自分のことだけでなく、相手の事、周りの事、客席の様子などなど。確かに道具のスタンバイから始まり、考え

たり、思ったり、見たり（見えたり）、聞いたり（聞こえたり）、する事がふえているのか？ かもしれない。

が、とにかく半端なく緊張する。同じ作品を長い間やってもこれだけは変わらない。変わらない方がいいのかとも思う。

舞台では緊張も楽しい!!から。

加藤 登明

デフニュースをご覧の皆様こんにちは。昨年度からデフパペに入りました加藤登明(かとうのあ)です。このところ寒い日が続き、布団や暖房のありがたみをひしひしと感じております。

寒いといえば、昨年末の『はこ』の公演では、移動中雪が降ったり、公演中の息が白かったりと冬を感じました。デフパペに入って2年目。はじめての手話や人形劇、覚えるのに頭がいっぱいだった昨年度よりも深く考えることができたなと思います。

私事ですが、夏に結婚し、新生活をスタートしてすぐ祖父を亡くし、秋には姪がうまれました。コロナ以外にも生活を大きく変える出来事がポンポンあったのですが、稽古中のある日「あれ？これらの出来事って『はこ』に近いものがあるのでは？」と気付きました。「なるほど、こういう感情なのか。」「結婚したときの父の気持ちに近いかもしれない。」「便利な家電!」「赤ちゃんに泣き止んでもらうの大変!」などなど。日常のなかにヒントがたくさんあるのだと再認識した2020年度『はこ』でした。

これからやっとな年度の『河の童』稽古&公演です。昨年度より積まれたたくさん経験のヒントに、よりいいものを作っていこうと思います。ぜひ見に来てください。



URARAへ客演

『はこ／BOXES じいちゃんのオルゴール』に客演参加させていただきましたURARAです。10月から3ヶ月のあいだにWSや公演で京都・北陸・岐阜・千葉の小学校、そして神奈川や都内のろう学校に参りました。普段は自分の身体で演劇をしています。人形劇は初めてでどうなることやらと思いましたが、デフパペの皆さんや演出の燕さん、そして人形さんたちのお力でなんとか乗り切ることが出来ました。ほんとうにありがとうございます。

『はこ／BOXES じいちゃんのオルゴール』は主遣い・左手の介添え・足遣いと一体の人形を1人、3

人で（3人で遣うときはそれこそ文楽のよう！）様々な遣い方をするのがとても面白かったです。それぞれ全く違う感覚なのですよね。わたしは左手を遣うのが結構好きでした。それに、これはデフパペならではのさうですが、人形遣いが人間の役者として表に立つ場面もあるので、自分自身が人形と共演する感じも新鮮でとても楽しめました。

コロナ禍での演劇はなかなか厳しいものがありますが（そして今後もそうした状況は続くと思われませんが）、そんな中でも言葉に頼らないデフパペには結構あかるい未来があるようにも思われます。手話も少しずつ覚えていきたいなあと思います。

近藤隼へ客演

旅の記憶

はこ／BOXES じいちゃんのオルゴール、2020年ツアー最終公演地は千葉県の習志野市でした。

今から20年前、現代人形劇センター制作の坂田さんと僕はこの習志野の地で隣同士の学校に通い、しかもお互い演劇部でした。僕の高校は男子校、坂田さんの高校は共学で、一緒に合同公演なんかもやりました。

一昨年かな、ドイツから帰ってきた坂田さんと久しぶりに会って渋谷でお茶をして、「一緒に何かやりたいね」という話をしました。それからしばらくして、今回のツアーにお声がけいただき、参加させていただいたのですが、そのツアー最終地が2人の母校の近くとは。つくづく縁を感じます。

俳優は普段、自分の体を使って



演技をします。けして変えることのできない自分の体を使って、なんとかイメージするものに近づいていくのです。

僕は、演出家の串田和美氏と演劇を作ることが多いのですが、「そこ、人形みたいに芝居してみて。」なんて言われて、どうやったらその存在の軽さを自分の体で体現できるか、もがいたりします。実際、人形は本当に軽い。でも、そこに命を吹き込むのは難しい。呼吸と意識。結局、普段自分の体を使ってやっていることと似ているようなところもあって、ツアー中は色々発見がありました。

そう、一番感動したのは、横浜の聾学校で公演した時のこと。いつものようにお芝居をしていると、客席がどうも賑やかだ。そう、みんな芝居を見ながらお互いに手話で話しているのです。「あれはきつとこうなんだよ。」「え？わからない。」「だから…」など、様々な会話が聞こえてきます。もちろんそこに音はありません。でも、これまで見てきた中で一番賑やかな客席で、演じながら、なんて素敵なんだろう、と感動しました。こんな僕とお付き合いしてくださった、デフパペの皆さま、そしてスタッフの皆さま、学校の先生方、子供たち、楽しい旅をありがとうございました。

おしらせ掲示板

ご支援のお願い

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、デフ・パペットシアター・ひとみの本年度内の上演はほとんどが延期または中止となり、また、依然として先行きの見えない状況が続いています。

今後の継続的な劇団活動のため、みなさまのご支援を賜りたく存じます。ご支援方法についての詳細は、デフ・パペットの企画運営を行う（公財）現代人形劇センターのホームページをご参照ください。

2021年 公演・ワークショップ

※新型コロナウイルスの感染拡大状況などに応じて、予定が変更になる場合がございます。最新の情報はデフ・パペのホームページよりご確認ください。

公益財団法人川崎市文化財団
令和2年度パラアート推進公募型事業

せりふのない人形げきを
つくってみよう！たいけんしてみよう！
2日間ワークショップ

スケジュール：

- ・2月13日（土）
「デフ・パペットの人形げきをみる」
「じっさいの舞台上で使っている人形を体験する」
- ・2月14日（日）
「オリジナルの人形げきをつくってみる」
「発表してみる」

会場：川崎市国際交流センター大ホール

3月 → **9月** に延期して実施します！！

カオニャオ(ラオス)×デフ・パペットシアター・ひとみ(日本)

ろう者の参加する人形劇団による
共同ワークショップ Part2 in 日本

2019年からスタートしたプロジェクトです。
自然の素材などのオブジェと身体により、表現の可能性を探ります。

スケジュール

- ・9月6日(月)～17日(金)
共同ワークショップ／ひとみ座スタジオ
- ・9月18日(土)
成果発表会／川崎市国際交流センター(一般公開)

その他公演・ワークショップ

「河の童」

- ・2月20日 大田原市(栃木県)
- ・4月29日 川崎市(神奈川県)
- ・6月20日 岡崎市(愛知県)
- 「一寸法師」
- ・3月5日 千代田区(東京都)
- ・5月2/3/4/5日 東かがわ市(香川県)
- 「オンラインワークショップ」
- ・3月6/7日(ろう学校生徒対象)

ひとみ座「鬼のごちそう」(やなせ出演)

- ・3月20～28日 ひとみ座

メール配信のご案内

デフ・パペットシアター・ひとみでは自然環境保護の観点から、紙媒体によるデフニュースの発行部数を削減するとともに、メールを通じた情報発信を推進してゆきます。

メールでのデフニュース・その他公演情報の受信が可能な方は、お手数ですが

- ①アドレス deaf_hp@puppet.or.jp までメール
- ②ホームページのお問い合わせフォーム

のいずれかの方法にて

- ・氏名
- ・ご住所
- ・デフニュースメール配信希望の旨

を本文にご記載のうえ、お知らせください。

絶賛！動画配信中

Youtubeにて、デフパペの過去公演作品やその他ちょっとしたコンテンツを配信しています。ステイホーム中もおうちでデフパペの人形劇をお楽しみください！



◆役者募集中！◆

【仕事の概要】

全国での人形劇の公演・ワークショップなど

【条件等】

- ・ろう者、聴者は問いません
- ・手話でお話するのが好きな方
もしくは手話に興味のある方
- ・年齢・入団日は応相談 詳しくはデフ・パペのHPにて！



★デフパペ友の会★

デフ・パペットシアター・ひとみでは様々な特典のある【友の会】を募集しています。

- ・年会費
個人会員 1500円
ペア会員 2500円

- ・特典
デフパペ公演割引
グッズお買いものチケット
デフパペニュースお届け
オリジナルお誕生日カード